

「仕事」とは何か
その本質をつかみとるための一冊

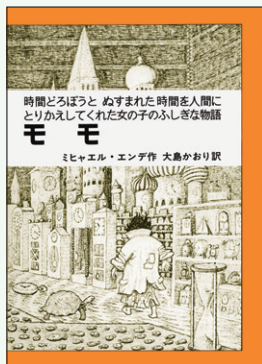


仕事は楽しいかね?

デイル・ドーテン 著
野津智子 訳
きこ書房

大雪で閉鎖された空港で、仕事に行き詰まりを感じ、未来に期待をもてない私に、偶然出会った老人は問いかける。「仕事は楽しいかね?」と。仕事観を揺さぶられる物語。

不思議な少女に教えられる
「時間」の本質



モモ

ミヒャエル・エンデ 著
大島かおり 訳
岩波書店

町外れの劇場跡に迷い込んだ少女モモが、「時間どろぼう」の男たちに奪われた町の人たちの時間を取り戻す。「時間」とは、本当の豊かさとは何かを問う、エンデの名作。

情報過多の時代だが
見極めは慎重に



人間はだまされる
——フェイクニュースを見分けるには

三浦準司 著
理論社

玉石混淆の情報があふれる時代に、ウソと本当を見極め、必要な情報を得るには。賢い情報受信者、発信者になるためのポイントを分かりやすく解説した一冊。

Twitterで90万リツイート
すべての働く人に



「死ぬくらいなら
会社辞めれば」が
できない理由

汐街コナ 著
ゆうきゆう 監修
あさ出版

仕事や会社に追いつめられている人がその状態から抜け出すための考え方を精神科医・ゆうきゆうの監修で描きおろした。その仕事、自分の命より大切ですか?

周りの多様な人と
共に生きていくために



未来をはじめるとは何か
「人と一緒にいること」の
政治学

宇野重規 著
東京大学出版

日々激しく移り変わる世界の中で、互いに異なる人たちはどうしたら共生できるのか。「人と一緒にいる」という人間の基本的条件から政治の根本を考える5つの講義を収録。

新時代の
働き方指南書



もっと自由に働きたい
(U25サバイバル・マニュアル)

家入一真 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
新たなサービスや組織を生み出し続ける起業家の「もっと自分に正直に生きていい」という力強いメッセージ。常識の逆をいくことでチャンスをつかみ取る、新しい働き方マニュアル。

「働く」時間を考え、
自らの生き方を考えるための
ブックセレクション

自らの生き方をどうしたいか考えることは、働き方を決めることでもありません。世の中にあふれる情報を取捨選択し、自分らしい生き方を考えるために役立つ6作品を選びました。